

授業科目		科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
疫学基礎		2単位 30時間(16 コマ) 講義科目	博士前期 1 年次 前期開講	☒ ・不可
科目責任者	松村 健太			
担 当 者	松村 健太、吉池 信男			
1. 科目のねらい・目標				
疫学の基礎、すなわち、集団の健康状態や疾病の背景となる因子を探索・把握し、次に、予防・悪化防止のための対策（介入）を行い、さらに、その結果を評価する手法と考え方を習得します。 受講者が自分の研究を実施し論文にまとめる際、疫学研究方法を適切に利用できることを目標とします。				
2. 授業計画・内容				
(松村) 第 1～8 回 1) 疫学とは、2) 疾病頻度の測定（曝露と疾病、疫学指標、相対危険と寄与危険）、3) 既存のデータ、4) 疫学研究方法（記述疫学、生態学的研究、横断研究、コホート研究、介入研究、システマティックレビュー/メタアナリシス）、5) 偏りと交絡（誤差、バイアス）、欠損値、6) 因果関係（関連と因果、因果関係の要件、統計的因果推論）、7) スクリーニング、8) 臨床疫学、栄養疫学、現代の話題 (吉池) 第 9～16 回 9) 10) 疫学に関わる英語表現や専門用語に慣れるように、基礎的な英文テキストを講読 11～13) 具体的な研究（横断研究、生態学的研究、コホート研究、RCT、メタアナリシス等）の論文を例に、各研究の疫学手法、指標、統計処理、結果の解釈などについてグループで学ぶ【日本語論文】 14～16) 同【英語論文】				
3. 教科書、参考書				
<教科書> ・中村好一. 基礎から学ぶ楽しい疫学 第 4 版. 医学書院, 2020 (ISBN 978-4-260-04227-7) ・Basic epidemiology 2nd edition, WHO 2012 https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/43541/9241547073_eng.pdf <参考書> 授業中に随時紹介する				
4. 成績評価方法				
提出課題・プレゼン（80%）、授業・グループワークへの積極的参加（20%）				
5. 受講要件				
特になし。ただし、授業中に簡単な計算を行うことがあるため、手元に表計算ソフト（Excel 等）の実行環境があることが望ましいです。				
6. 社会人学生に対する配慮				
双方向型の完全オンライン授業、あるいは対面とオンラインを組み合わせたハイフレックス型で授業を行います。また、時間の有効活用を図るために、一部オンデマンドの受講や Webex スペースを活用した授業を予定しています。				
7. その他				
「疫学」は人に関わる様々な事象を科学的に捉えるために重要な基盤となります。公衆衛生や量的研究ではない分野の受講生においても、積極的・主体的に学んでいただきたいと思います。 講義欠席の場合には、講義動画をオンデマンド視聴の上、個別の課題提出などにより出席とみなします。				